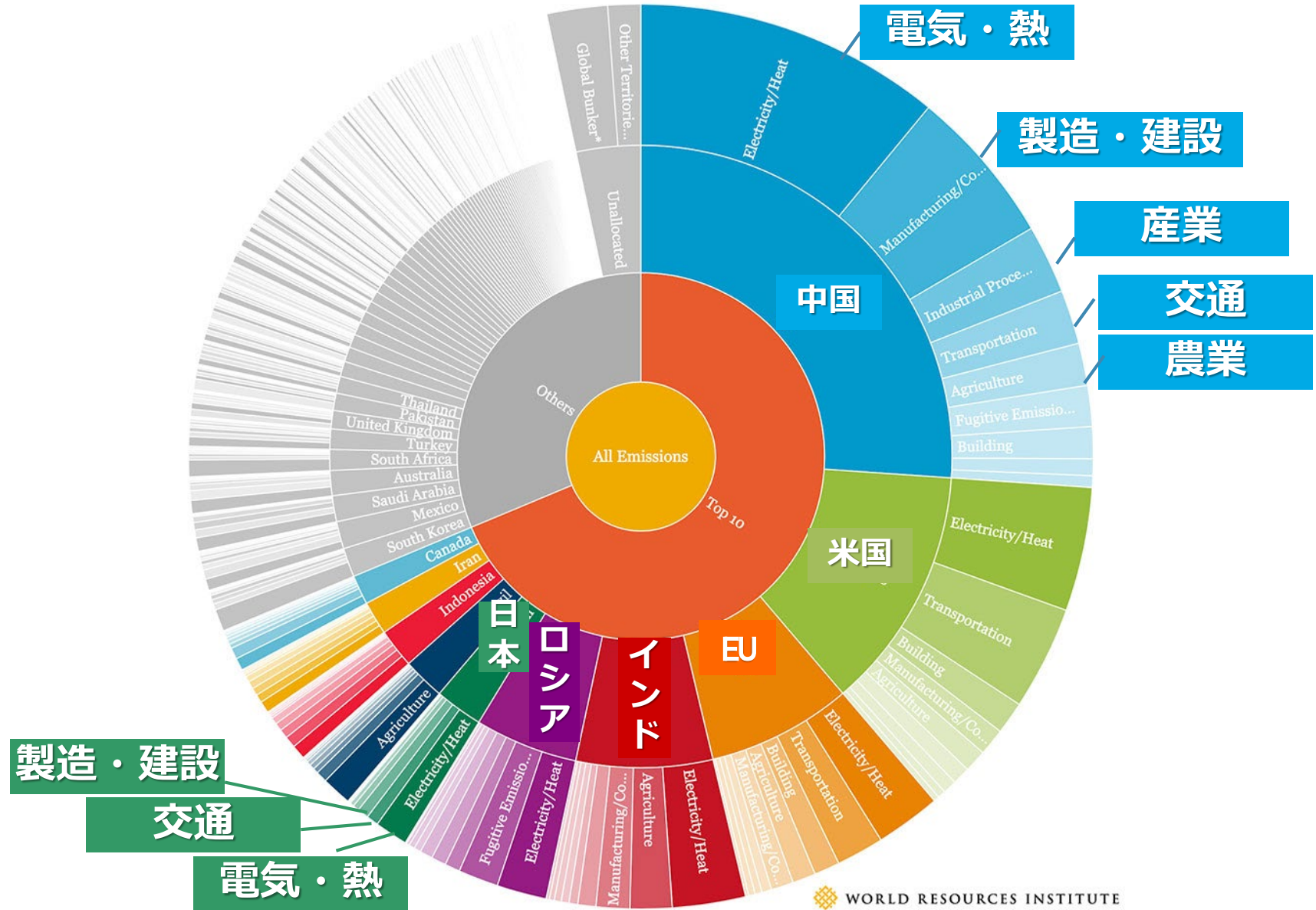


気候変動と私たちの暮らし カーボンフットプリントの少ない暮らしと地域の作り方

公益財団法人 地球環境戦略研究機関

世界の温室効果ガス排出（2018）



脱炭素社会と私たちの暮らし カーボンフットプリント

カーボンフットプリント



カーボン・フットプリント

購入する製品やサービスの製造・流通・廃棄等、サプライチェーンにおける間接排出を含めたライフサイクルにおける温室効果ガス排出

例：オレンジジュース1缶



合計
123g



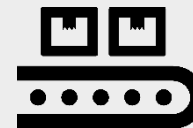
捨てる・リサイクルする
12.1g



家で冷蔵する
18.5g



製品を運ぶ
43.1g

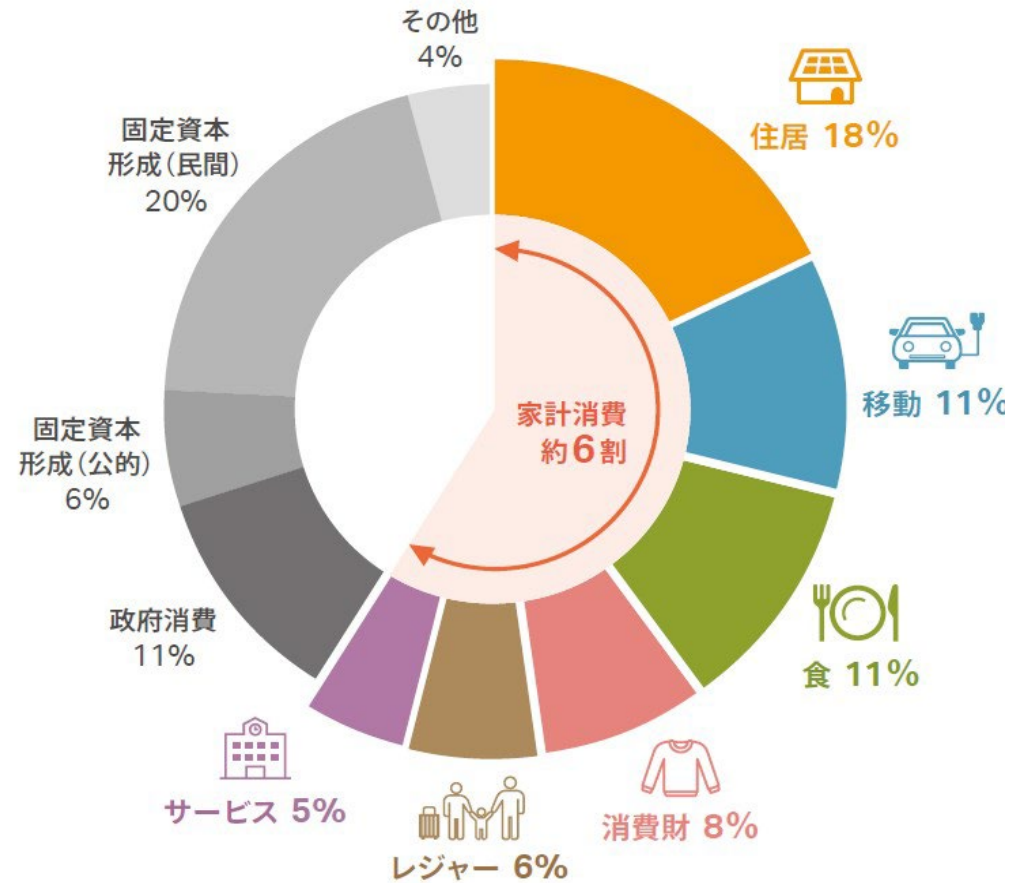


製品を作る
30.8g



原材料を調達する
30.8g

日本のくらしとカーボンフットプリント



家計消費が61%

一人あたり
7.1t/年

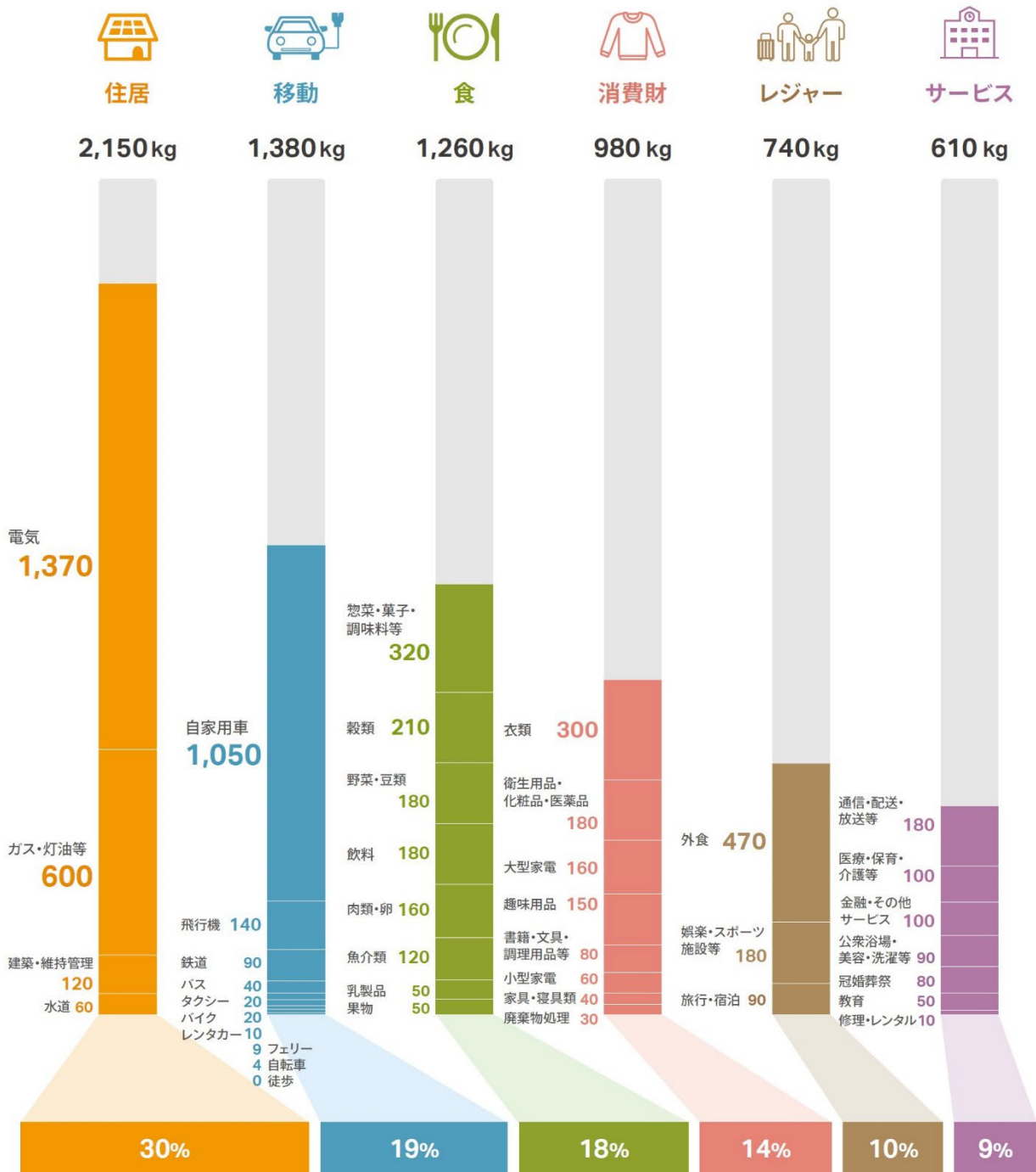
日本のカーボンフットプリント内訳 (2015年¹)

*政府・家計外・非営利団体消費・在庫純増の合計

出所:国立環境研究所・IGES 「国内52都市における脱炭素型ライフスタイルの
選択肢カーボンフットプリントと削減効果データブック」

全国
7,120
kgCO₂e
 1人1年あたりの
 家計消費カーボン
 フットプリント

出所:国立環境研究所・IGES
 「国内52都市における脱炭素型
 ライフスタイルの選択肢 カーボン
 フットプリントと削減効果データ
 ブック」

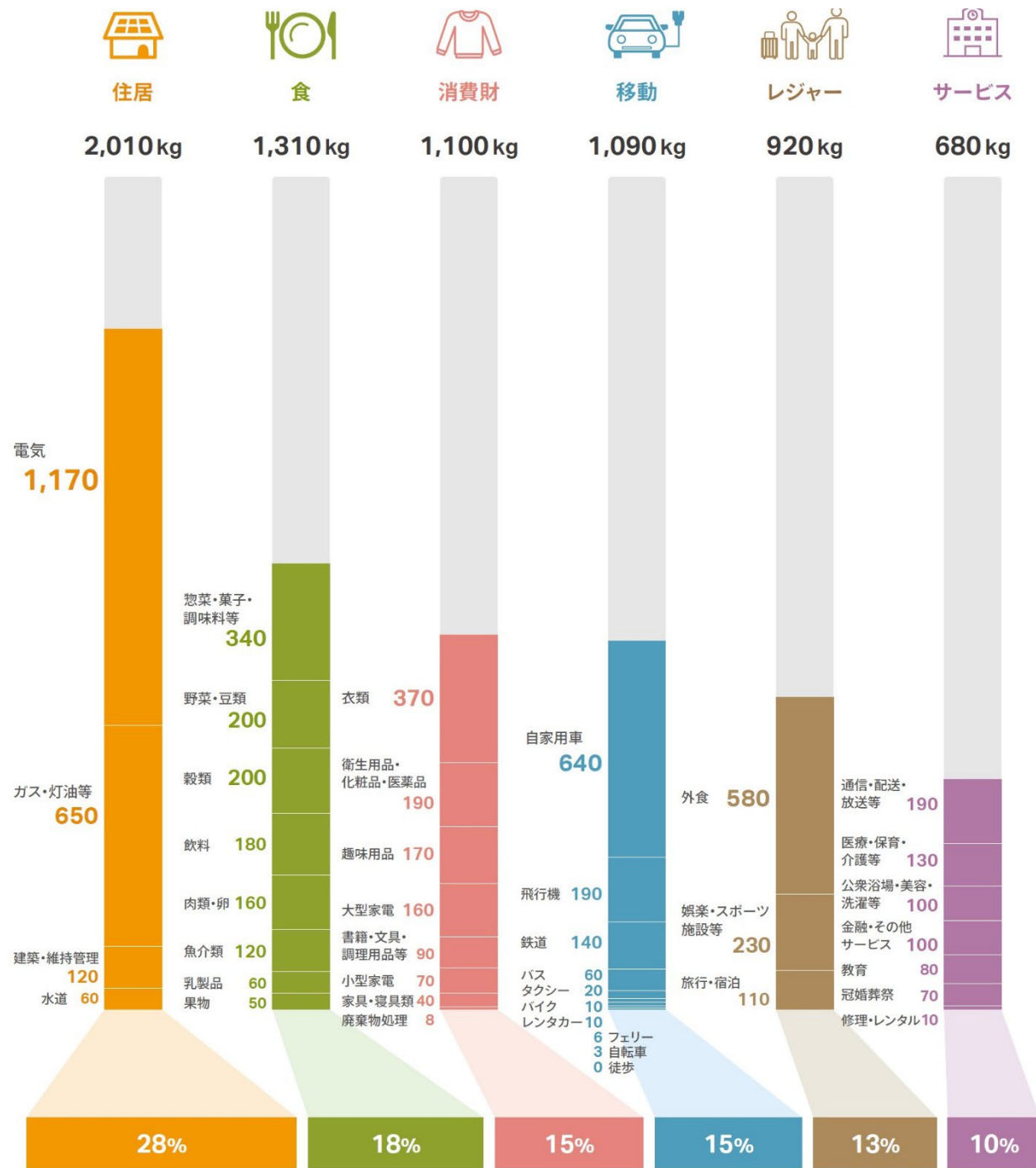


横浜市

7,120 kgCO₂e

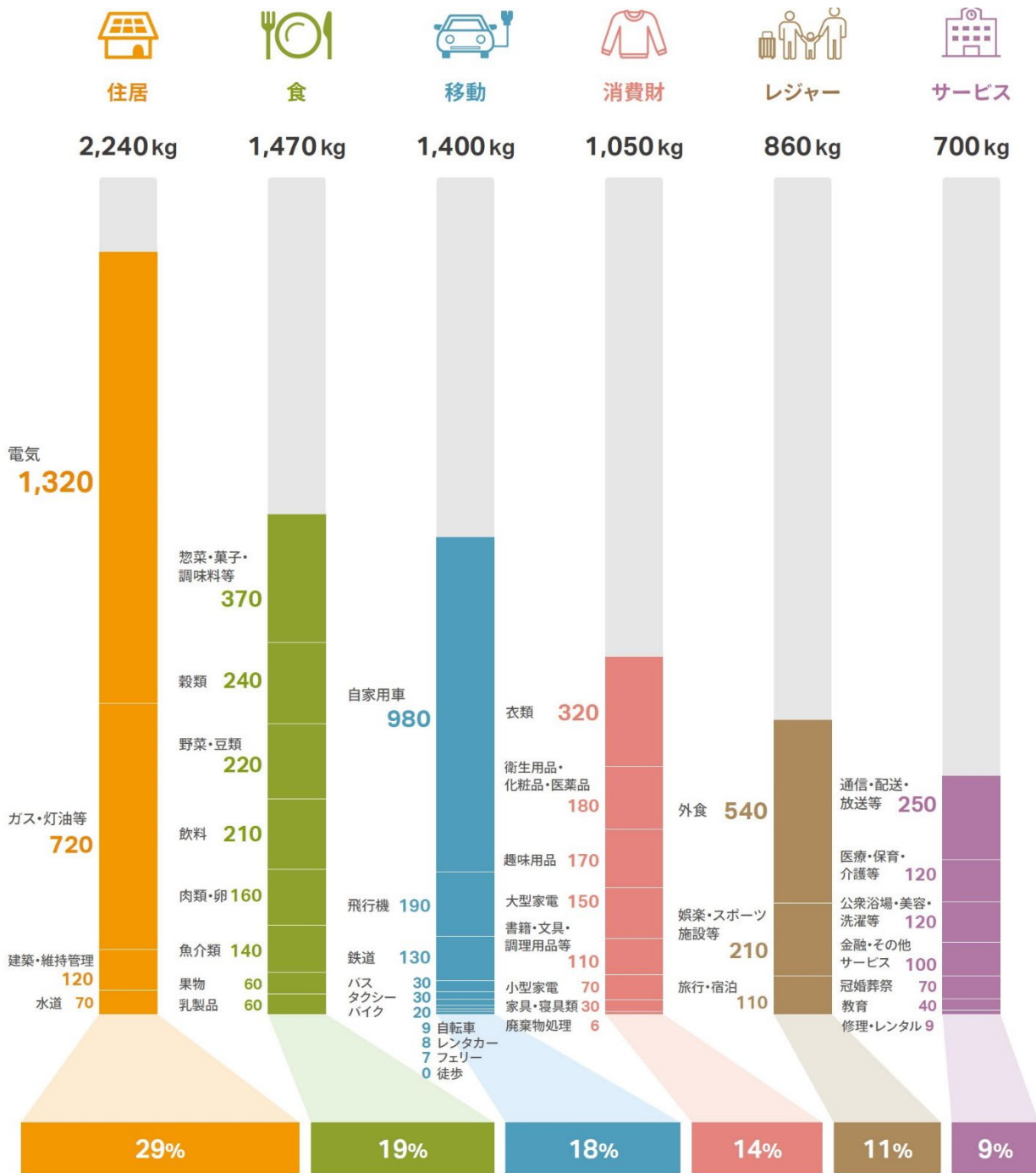
1人1年あたりの家計消費カーボンフットプリント

出所:国立環境研究所・IGES
「国内52都市における脱炭素型
ライフスタイルの選択肢 カーボン
フットプリントと削減効果データ
ブック」



相模原市
7,710
kgCO₂e
 1人1年あたりの
 家計消費カーボン
 フットプリント

出所:国立環境研究所・IGES
 「国内52都市における脱炭素型
 ライフスタイルの選択肢 カーボン
 フットプリントと削減効果データ
 ブック」



カーボンフットプリント
の少ないくらしとは

低炭素型の移動手段を使う



都市内の移動を
公共交通機関か自転車で
250 kg-CO₂の削減



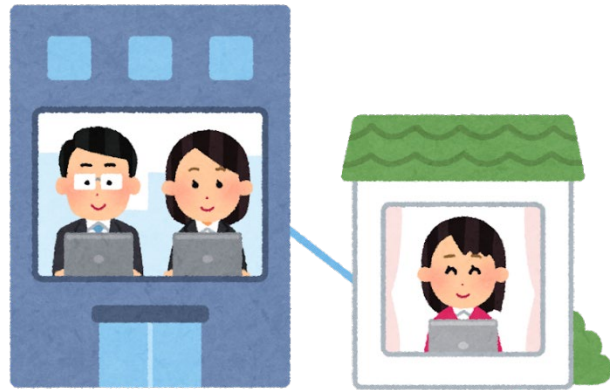
長距離移動を
公共交通機関で
120kg-CO₂の削減



国内線の飛行機移動を
鉄道に
50kg-CO₂の削減

出所:国立環境研究所・IGES 「国内52都市における脱炭素型ライフスタイルの選択肢
カーボンフットプリントと削減効果データブック」

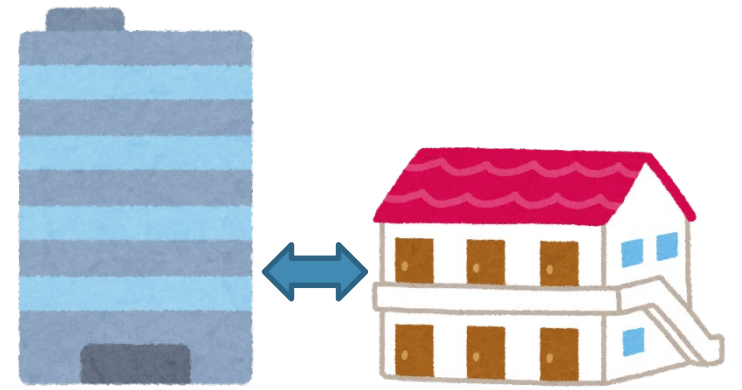
移動距離を減らす



テレワークの実施
220kg-CO₂の削減



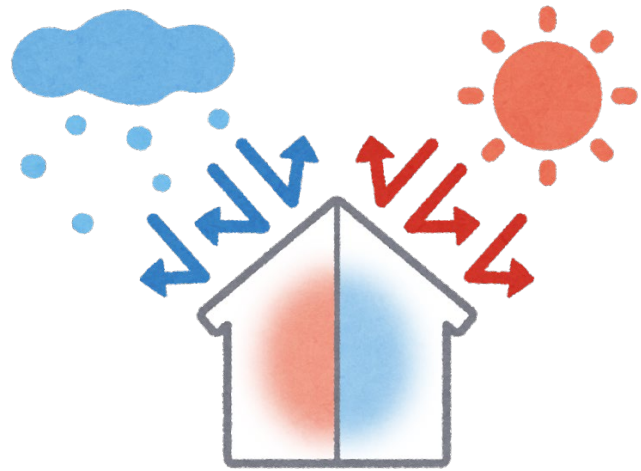
まとめ買いをする
90kg-CO₂の削減



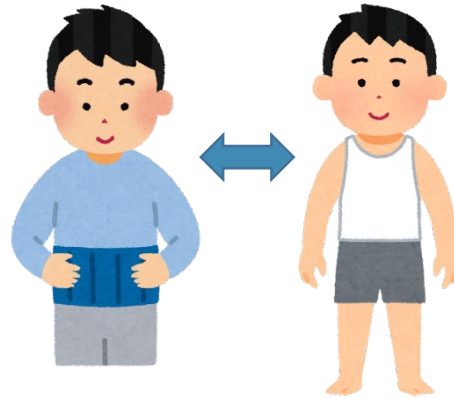
自宅と職場・学校の
距離を近く
180kg-CO₂の削減

出所:国立環境研究所・IGES 「国内52都市における脱炭素型ライフスタイルの選択肢
カーボンフットプリントと削減効果データブック」

エネルギーを節約する



自宅を断熱リフォーム
120kg-CO₂の削減



自宅でウォームビズ
クールビズ
90kg-CO₂の削減



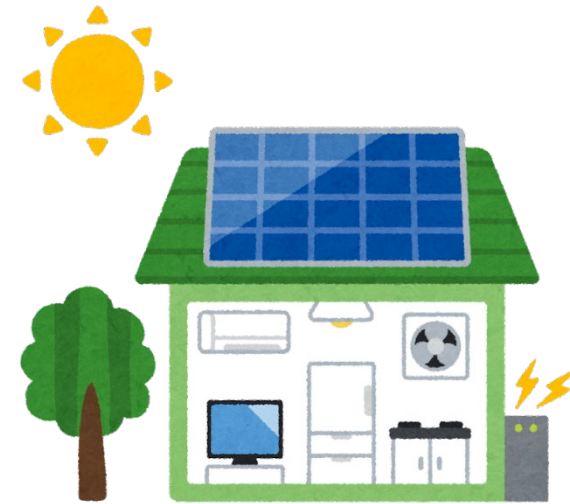
自宅をコンパクトに
200kg-CO₂の削減

出所:国立環境研究所・IGES 「国内52都市における脱炭素型ライフスタイルの選択肢
カーボンフットプリントと削減効果データブック」

再生可能エネルギーを使う



自宅の電力を100%
再生可能エネルギーに
1060kg-CO₂の削減

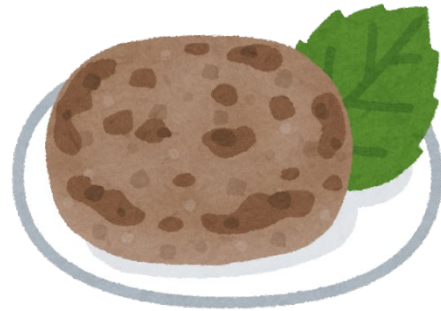


自宅に太陽光パネル設置
1090kg-CO₂の削減

動物性食品を他の食品に替える



完全菜食（ヴィーガン）
340kg-CO₂の削減



肉類を代替肉に
190kg-CO₂の削減



肉類を鶏肉のみに
70kg-CO₂の削減

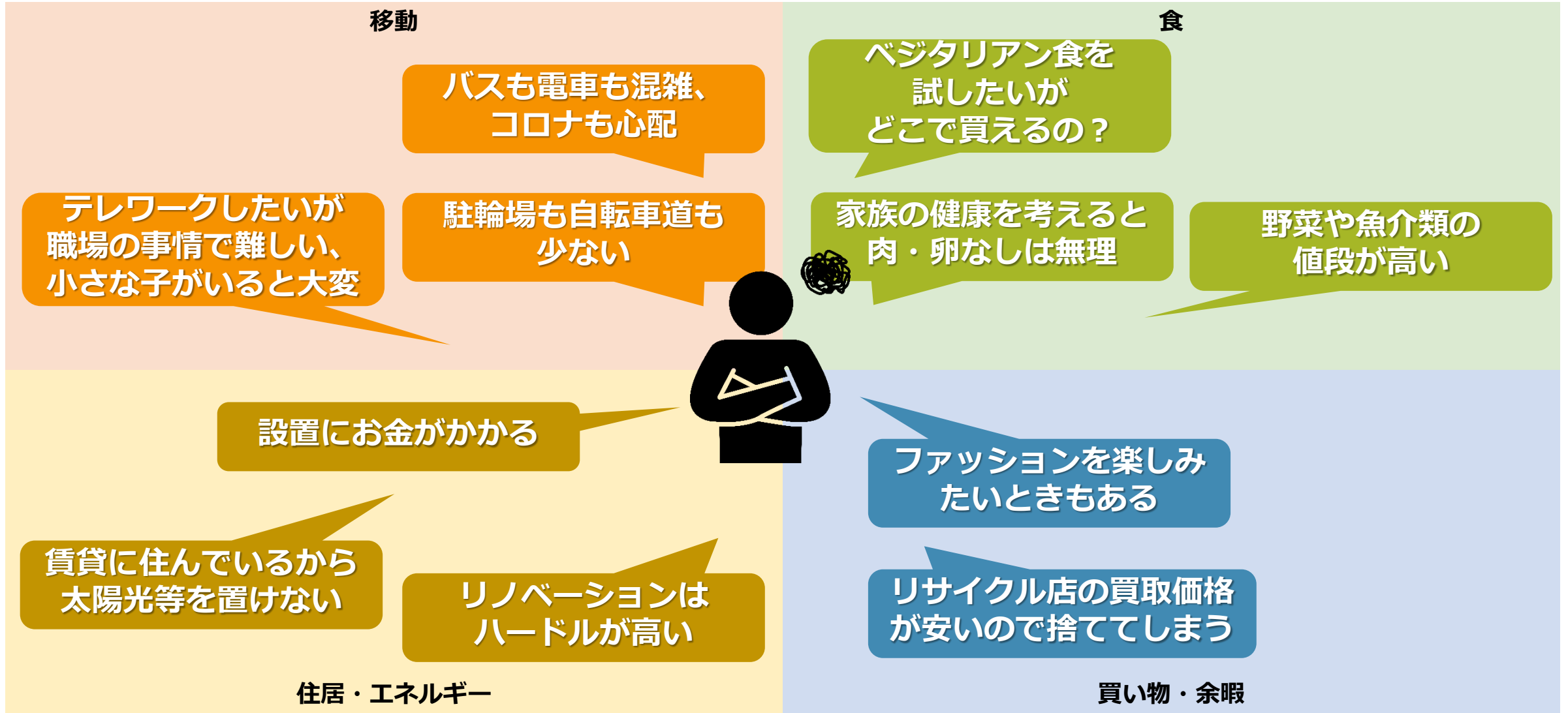
食品の廃棄を減らす



食品ロスをゼロに
60kg-CO₂の削減

カーボンフットプリントの
少ないくらしを地域で考える

脱炭素型の暮らしを試した人たちの学び (横浜・京都 2021)



脱炭素型の暮らしを試した人たちの学び (横浜・京都 2021)

京都

バス・電車は充実しているが
観光客で混雑する
時間が予想できない

古い家を残したい
景観条例でパネルを置けない

地元野菜は豊富だが
ブランド化で値段が高い

移動

住居

食

横浜

多くの用は徒歩圏で足りる
駅前駐輪場がない
バス路線が減っている

賃貸や集合住宅では改修や
電気契約の変更を自由にできない

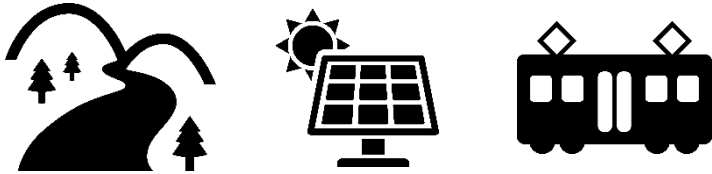
育ちざかりの子供に肉なしは無理
地元野菜はあるが高い



まとめ

私たちのライフスタイルを支えるもの

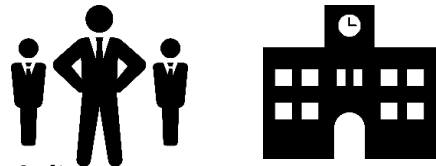
地域の自然やインフラ



入手できる製品やサービス



職場、学校、地域のルール



自分や家族などのニーズ



持続可能なライフスタイル

=

持続可能で住みよい街づくり

まとめ

脱炭素型の暮らしと地域を作るためにできること

政府・自治体

- 規則や標準の設定
- 交通・エネルギー等
インフラ整備
- 税・補助金の調整
- 公共料金の値下げ

ビジネス

- 製品やサービスの開発
- 情報提供（ラベル、検索サービス、コンシェルジュ等）
- テレワーク推進等働き方改革
- 脱炭素ビジネスへの投資

脱炭素型の
暮らしができる
地域社会・経済

- 脱炭素型の暮らし
（移動、エネルギー、
食、余暇…）
- 行政への提案、
働きかけ

家庭・地域・市民

- 地域や職場・学校などでの
取り組みと情報発信
- 地域の資源や知恵の活用
- 企業への要望
- リビングラボ等